

動物実験に関する自己点検・評価報告書

中部大学

動物実験委員会

2026 年 6 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 中部大学動物実験取扱規程（2007 年 9 月 20 日施行、2013 年 4 月 17 日改訂）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 機関内規程として「中部大学動物実験取扱規程」が適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 中部大学動物実験取扱規程 ・ 中部大学動物実験委員会規程 ・ 中部大学動物実験委員会専門委員会細則 ・ 動物実験委員会名簿 ・ 動物実験委員会専門委員会委員名簿 ・ 動物実験委員会議事録 ・ 中部大学動物実験実施体制フローチャートと委員会組織図
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 委員会が設置され適切に運営されている。 「中部大学動物実験取扱規程」、第 4 章（第 5 条～第 9 条）に 動物実験委員会の委員会の役割、委員会の構成等、委員長等、定足数及び議決数、事務について適切に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 中部大学動物実験取扱規程 ・ 中部大学実験動物教育研究センター利用内規 ・ 中部大学動物実験委員会専門委員会細則 ・ 中部大学動物実験計画書の審査・承認の流れに係るフローチャート ・ 2023 年度 中部大学動物実験結果報告書、動物実験（終了・中止）報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告について、適正に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 2025 年度中部大学動物実験計画書（学事課保管、センターで写しを保管） ・ 中部大学実験動物教育研究センター利用内規 ・ 感染実験をするための手順書（中部大学感染実験室利用手順書） ・ 中部大学組換え DNA 実験規程 ・ 中部大学研究用微生物安全管理規程 ・ 中部大学毒物及び劇物管理規程 ・ 中部大学バイオセーフティ委員会規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に適合し、遺伝子組み換え動物実験および感染動物実験の実施等の安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 中部大学動物実験取扱規程 ・ 中部大学実験動物教育研究センター利用内規 ・ 飼養保管施設設置承認申請書（学事課保管、センターで写しを保管） ・ 実験室設置承認申請書（学事課保管、センターで写しを保管）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 2) で示した資料の通り整備されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、適正に機能している。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験委員会関係資料と委員会議事録（学事課保管）。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験委員会を定期的に開催しており、動物実験計画書の審査等を怠りなくおこなっている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☐ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 ☒ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・2025 年度中部大学動物実験計画書および動物実験計画（変更・追加）承認申請書 ・2024 年度・2025 年度中部大学動物実験結果報告書、動物実験（終了・中止）報告書 ・中部大学動物実験計画書の審査・承認の流れに係る書類（学事課保管）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・動物実験計画書の立案、審査、承認について、動物実験委員会を通し適正に審議されている。複数年度にまたがる計画については、年度毎に継続審査が行われている。 ・昨年度（2025 年度）は、83 件（生命健康科学部 50 件、応用生物学部 31 件、工学部 1 件、分析計測センター1 件）の動物実験計画書の申請がなされ、動物実験委員による厳正な審査を経て承認されている。 ・昨年度（2025 年度）承認された動物実験計画（70/83 件）に関して、動物実験結果報告書、動物実験（終了・中止）報告書が提出された。 ・一昨年度（2024 年度）承認された動物実験計画（78/80 件）に関して、動物実験結果報告書、動物実験（終了・中止）報告書が提出された。 ・「3R の原則」遵守と申請者及び審査委員の負担軽減を目的とし、動物実験計画書の様式改定を行った。 動物実験結果報告書について、大多数の実験実施者は期限内に提出を完了しているが、一部の未提出者が存在するため、一部に改善すべき点があるとした。
4) 改善の方針、達成予定時期 動物実験計画報告書の未提出者に対し、個別に提出を督促する。2025 年 6 月末までに全件提出完了を目指す。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・2024 年度中部大学動物実験計画書（学事課保管、センターで写しを保管） ・感染実験をするための手順書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・基本指針に適合し、遺伝子組換え動物実験及び感染動物実験の実施等の安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・飼養保管施設設置承認申請書（学事課保管、センターで写しを保管） ・実験室設置承認申請書（学事課保管、センターで写しを保管） ・中部大学動物実験計画書と動物の記録、微生物モニタリング成績（年 2 回実施）、飼育日誌 ・利用費請求書（控）、温湿度記録、清掃・消毒記録、洗浄室内作業記録、 ・実験室利用記録、センター入館管理記録、飼料入荷・搬入・搬出記録、飼料搬出記録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 2) の資料が適切に整備されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 特になし。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 第一種圧力容器定期自主点検表、オートクレーブ関係記録、メンテナンス記録、空調保守・点検・異常記録、オゾン殺菌ボックスメンテナンス記録、廃棄物処理記録
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） ・業務が適切に実施され、適正に維持管理が実地されている。 ・2) の資料が整備されており、維持管理状況が適切に記録されている。 ・法定点検が適切に実施されている。

・修理等の必要な施設や設備について、適宜改修されている。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果

- ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

・利用者講習会記録および講習会配布資料

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

・利用者講習会を 9 回開催し、合計 206 名が受講。

4) 改善の方針、達成予定時期

特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果

- ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- ☐ 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

・動物実験に関する自己点検・評価報告書、自己点検評価事項チェック票
・実験動物教育研究センターホームページ

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

・動物実験に関する自己点検・評価を適正に実施している。ホームページを通じて自己点検・評価、センター利用状況、保有機器類、利用者への連絡事項などの情報を公開している。

4) 改善の方針、達成予定時期

・わかりやすく適正な情報公開を目指しホームページを作成する。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

特になし。